

雪国アグリ株式会社

季節性商品を年間を通して平準生産するためのグローバルマーケット戦略とその実用化



「季節性商品の北半球、南半球での海外戦略構築」と「生産性向上」の両輪により、「こんにゃくゼリー」を年間を通して国別に多品種少量生産を高速で平準生産できるよう製造工程を開発し、通年の雇用確保と生産増による雇用増を実現する。

通年雇用実現に向け、冬期に東南アジアへの輸出を

当社の主力商品「こんにゃくゼリー」は国内では季節性商品である。年間通した雇用を確保し、しかも生産増によって雇用自体を増やすためには、海外輸出による冬期生産が必要不可欠だ。

そのためには、「こんにゃくゼリー」を東南アジアなどの南半球へ販売し、冬期生産の確保に努め、国別に多品種少量でも生産対応でき、しかも市場ニーズに応じて高速生産可能な製造工程の構築が必要だ。

一方、現状、当社の工程は人力によって一定個数のピロ一個層を分け、包装機へ投入する形。数え間違いもあり、包装機のスピードも上げられない。

現状では、海外展開に対応できるよう生産量アップ、多品種少量生産の実現を図ることは困難だ。

状況を打破すべく、中小企業でも対応可能な外装ラインの改良に挑戦した。



こんにゃくゼリーの現状商品



こんにゃくゼリー外装機へ一定数の個装を計測し投入する現状

多品種少量生産のための製造ライン開発と海外販路開拓

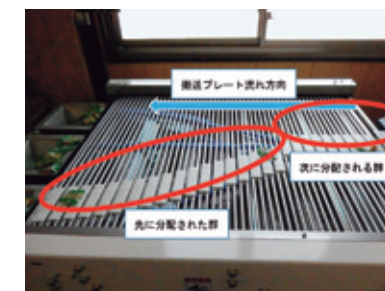
生産性向上のための装置開発

当プロジェクトにおいて、最大の課題となるのが難包材であるピローを正確に個数測定し一定数ずつ取り分け

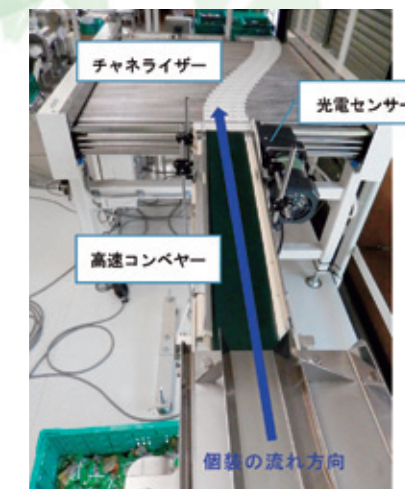
る工程。ピローを一定数計測し、包装機に入れる構想と部品開発を前橋工科大との公募型共同開発で進めてきた。

原理の構想が完成したためピローをユーレル振動コンベヤーで整列化し、光電センサーで計測し、チャネライザーで一定数ずつ分配し、投入ダンパーを経由して包装機へ入れる新方式を考案した。そして、このラインに組み込むユーレル振動コンベヤー、包装機、半自動箱詰め機を導入した。

従来工程では、1分当たり120個の製品を計測・分配するのが限界で、製品製造スピードは1分間に20袋。ユーレル振動コンベヤーによるピロー個装の整列化は、270／分を試験的に達成。製品製造スピードは人手の2倍以上の45袋／分を目指している。



チャネライザー上を分配されながら移動するピロー個装



ユーレル振動コンベヤー

2倍の生産効率を目指し、東南アジア輸出も増加中

東南アジアへの「こんにゃくゼリー」販売ルート開発を行った。秋から春にかけて販売を維持できる地域の開発がメインで、シンガポール、マレーシア、タイ、インドネシア、ベトナムなど。国別に得意な販路を持つ商社と折衝し販路開拓に努めた。

一方、特定の海外ブランド会社と商品開発と販売をコラボし、東南アジアでの販売開拓を進めた。

さらに海外市場のニーズを読み、“和”の味種として、

抹茶、ゆずのこんにゃくゼリー新製品の開発を進めた。和の食を海外に売り込む大展示会「Oishii Japan 2015」(シンガポール)にも出展した。

今回のプロジェクトにより、生産効率は2倍を目指し改善を重ねており、2014年の輸出数量13万ケースから2015年は17万ケースに増加、海外輸出の増加とともに月別振れ幅も小さくなりつつある。

さらなる設備増強と営業活動で雇用安定を進める

当プロジェクトで整備した製造ラインにさらに改良を加え、多品種対応ラインを4ラインに増強する。引き続き国別の営業活動を行い、こんにゃくゼリーが世界ブランドとして浸透できるよう努めていく。海外販売の増大状況を見ながら、今後、設備増強か新工場建設を視野に入れている。

現在、ゼリー工場では4～7月の繁忙期に2シフト制で19人、11～2月は12人で稼働、7人が配置転換か休職となる。一層の販売増加により、雇用の安定に努めている。

2020年、5,000万円の売り上げを見込んでいる。



事業者名／雪国アグリ株式会社
代表者名／代表取締役社長 鳥山晴冲
設立年／1994(平成6)年
所在地／群馬県沼田市久屋原町143-3
電話番号／0278-22-0606

URL／www.yukiguni-aguri.jp
資本金額／2,000万円
従業員数／65人
業種／食料品製造業